

各 位

宮城県卓球協会
会長 柴田幸男
(公印省略)

第37回全日本クラブ卓球選手権大会宮城県予選会について(案内)

1. 名 称 第37回全日本クラブ卓球選手権大会宮城県予選会
2. 日 時 平成30年4月30日(月・振) 13:00 試合開始予定
3. 会 場 仙台市出花体育館(JR仙石線 中野栄駅徒歩約10分)
仙台市宮城野区出花一丁目13-7 TEL 022-786-3446
4. 主 催 宮城県卓球協会
5. 共 催 仙台市卓球協会
6. 後 援 日本卓球株式会社
7. 競技種目 団体戦 ①男子:一般の部1部 ②女子:一般の部1部
③男子:一般の部2部 ④女子:一般の部2部
⑤男子:50代の部 ⑥女子:50代の部
⑦男子:60代の部 ⑧女子:60代の部
⑨男子:小・中学生の部 ⑩女子:小・中学生の部
8. 試合方法 各種目とも申し込みチーム数により、トーナメント又はリーグ戦とする。
一般の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。
50代の部 : 選手は50歳以上で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。
60代の部 : 選手は60歳以上で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。
小・中学生の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名(小中学生のみ)を登録する(但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による4シングルス、1ダブルスで編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。

1	2	3	4	5
中学生以下	小学生	小・中学生or小学生同士	小学生	中学生以下

- ※小・中学生の部のみ年令の低い者が年令の高い所への出場は認める。
 ※シングルスとダブルスの2試合に出場できるが、シングルスのみ2試合出場することはできない
 ※申込後、大会当日受付時までの登録選手の変更は2名までとする。大会当日受付後の変更は受け付けない。
 ※両チーム整列時に、試合に出場する既定の4名以上のメンバーがその場に整列していなければならない。(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)

9. **参加資格** 選手は、平成30年度宮城県卓球協会選手登録予定者。
 監督・コーチは平成30年度宮城県卓球協会役員登録予定者。
 選手が監督・コーチを兼ねる場合、選手登録と役員登録が必要です。
監督・コーチ・選手は必ず4月末日までに登録手続きを完了してください。
 なお、詳細は別紙本大会参加資格参照のこと。

10. **無条件参加チーム**

男子一般の部1部 仙台卓球センタークラブ (前年度ランキング7位)
 男子50代の部 ゼフィルス大河原 (前年度ランキング5位)

11. **ルール**

- ①現行の日本卓球ルールによる。
 ②全試合、11ポイント5ゲームで行う。
 ③タイムアウト制は適用しない。
 ④ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。

12. **使用球**

日本卓球株式会社 40mmホワイト (プラスチック球)

13. **参加料**

1チーム 5,000円

14. **参加料
納入方法**

参加料は払込取扱票にて振り込んでください。【納入期限4月9日(月)】
 ゆうちょ銀行振替口座 口座名：宮城県卓球協会 口座番号：02270-3-40587
 注意：通信欄に必ず大会名、チーム名、申込責任者の氏名を記入してください。
 ゆうちょ銀行または郵便局の貯金窓口、払込み機能付きのゆうちょ銀行のATMからお振り込みください。他の金融機関からの振り込みは出来ません。
 手数料はご負担ください。

15. **申込方法**

所定の申込用紙に必要事項を記入し下記宛に送付すること。
 事務局への持参、FAXでの申し込みは受け付けません。
 〒981-0943 仙台市青葉区国見一丁目8番1号 東北福祉大学内
 宮城県卓球協会宛 TEL/FAX 022-233-8364

16. **申込締切**

平成30年4月10日(火) 必着

17. **本大会**

期日：平成30年7月13日(金)～16日(月・祝)
 会場：サオリーナ(三重県津市)
 宮城県からの参加枠：全種目1チーム
 *予選会の出場数による追加枠は平成26年度より廃止されました。

本大会参加料：一般の部 1・2部、50・60代の部	1チーム	30,000円
小・中学生の部	〃	20,000円

本大会参加料は出場チームの負担となります。

18. その他
- ①ゼッケンは平成30年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
ただし、ゼッケン印刷等の為に間に合わない場合は前年度のものでも可。
 - ②競技中、万一事故があった場合、主催者側は責任を負いません。
公益財団法人日本卓球協会「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ③会場の設営並びに後片付けにご協力ください。
 - ④参加資格に疑義がある場合は、申し込む前に事務局までお問い合わせください。
 - ⑤本大会無条件参加チームも必ず予選会参加申込用紙を使用し、予選会申込締切日までに申し込みください。本大会参加料は予選会参加料納入期限日までに予選会参加料と同様に当協会指定口座にお振込みください。但し予選会の参加料は必要ありません。
 - ⑤本大会出場権を得たチームは予選会当日、本大会参加料を納入していただきます。
 - ⑥同日、同会場において第一三共ヘルスケア・レディース2018・第41回全国レディース卓球大会宮城県予選会を13時より行います。
 - ⑦駐車場には限りがありますので、皆様には公共の交通機関を利用するか、乗合せてご来場いただき、持込み車両台数を極力減らすようお願いいたします。満車の場合は、各自で駐車場をお探しいただくこととなりますことをご了承ください。
 - ⑧申し込みの際は、必ず参加申込用紙の控え(コピー)をお取りください。

☆この大会に関する問い合わせについて☆

※問い合わせはメールでのみ受付いたします。E-mail：miyagikentaku@gmail.com

注：携帯電話・スマートフォンの場合は、miyagikentaku@gmail.com からのメールを受信できることが必要となります。

第37回全日本クラブ卓球選手権大会参加資格

- (1) 参加者は平成30年度、(公財)日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の新規選手登録は認められない。また、日学連、高体連に加盟している者は出場することができない。
- (2) 参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。
(平成30年度より：隣接都道府県からの参加は認めない。第36回大会(平成29年度)に隣接都道府県より出場しても平成30年度に1年間あける必要はない。)
- (3) 出場選手は(予選会を含めて)同一年度に一人一種目までとする。
- (4) 卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
- (5) 男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
- (6) 予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。予選の方法は加盟団体に一任する。
- (7) 前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を破棄したものと取り扱う。
- (8) 前年度ランキングチームが『前年度一般の部から50代の部』、『前年度50代の部から60代の部』に出場する場合、選手が4名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
- (9) 外国籍の選手(日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く)は1試合1名1ポイントに限って参加資格が得られる。(シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。)
- (10) 本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
- (11) 本大会に出場した代表チームの選手は、第一三共ヘルスケア・レディース2018・第41回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。(但し、予選会を除く)
- (12) 一般の部1,2部男・女は、第68回全日本実業団選手権大会(本大会)出場選手(参加登録者を含む)は出場できない。
- (13) 一般の部2部男・女
 - ① 日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間、(’15~’17)下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ② 過去3年間(’15~’17)下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。(過去3年間に下記全国大会に出場した選手が1人でも含まれる場合には1部となる)
 - ③ 全日本実業団選手権大会(予選会を除く)に参加したことの無い企業チーム。
※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。
全国大会 ①全日本卓球選手権(一般・ジュニアの部) ②全日本選手権(団体の部) ③国民体育大会
④全日本社会人卓球選手権 ⑤全国高等学校卓球選手権(シングルス・ダブルス)
⑥全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)
- (14) 50代の部男・女は、昭和44年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(50才以上)
- (15) 60代の部男・女は、昭和34年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。(60才以上)
- (16) 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年齢の低い者だけで構成してもよい。
- (17) 前年度一般2部優勝チームのみが一般1部に推薦出場するものとしその他の一般2部のランキングチームは一般1部もしくは一般2部いずれかを選択し推薦出場できる。
- (18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績(ランキング)を剥奪し、当該チームと登録監督・コーチ及び選手は翌年度の本大会に出場することはできない。
- (19) (9)を適用する団体は申込書にその旨を明記すること。(外国籍選手は※と備考に記載)